

藤井七段 最年少100勝

羽生超え16歳4カ月

最速、最高勝率も更新



藤井聡太七段

将棋の最年少棋士藤井聡太七段（二六）＝愛知県瀬戸市＝が十二日、東京で行われた銀河戦の本戦トーナメントで二連勝し、デビューからの公式戦の白星を百の大台に乗せた。日本将棋連盟が把握する記録では、最年少、最速、最高勝率で到達した快挙。

百勝の達成年齢は十六歳四カ月で、棋界第一人者の羽生善治竜王の十七歳六カ月を一歳以上更新してトップになった。デビューから達成までの期間も羽生竜王の最短記録（二年三カ月）を超える二年二カ月。勝率は中原誠十六世名人の八割二分六厘（二十一敗）を上回る八割四分七厘（十八敗）で、歴代最高だった。

銀河戦はCS放送「囲碁・将棋チャンネル」の主催。対局は、来年三月五日午後八時から放送される。

